

平成22年度一般会計補正予算説明資料

8款 土木費

6項 住宅費

住宅政策課（内線：7408）

2目 住宅建設費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
環境にやさしい・木の住まい助成事業	259,380	76,756	336,136	22,932			53,824	
トータルコスト	270,675	76,756	347,431	（補正に係る主な業務内容）				
従事する職員数	1.4人	0人	1.4人					
工程表の政策目標（指標）	平成27年度におけるCASBEEを利用した新築の戸建木造住宅の着工割合5%を目指す							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

県産材を活用した住宅の建設・改修に対し、県産材の使用状況等に応じた助成を行う「環境にやさしい・木の住まい助成事業」について、政府における経済対策（住宅エコポイントの延長）により、今後当初の予想を上回る申請数が見込まれることから、政府における経済対策と連動し、住宅投資の促進を通じて地域産業の振興に資するため、申請増加見込分について増額補正を行う。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	助成の内容	当初予算額	補正予算額	補正後予算額
新築	県産材活用助成 県産材使用量1m3当たり2万5千円（緊急経済対策上乗せ含む）を助成（上限50万円）	154,020 (240戸)	78,176 (140戸)	232,196 (380戸)
	JAS製材活用助成 JAS製材使用量1m3当たり9千円を助成（上限18万円）			
築	伝統文化活用助成 在来軸組構法による住宅で、次のうち2種以上の伝統技術を活用する場合、1戸につき15万円を助成（手刻み/下見板張/左官仕上/日本瓦/木製建具）	15,000 (100戸)	4,650 (31戸)	19,650 (131戸)
	環境配慮住宅助成 CASBEE戸建とっとりによる評価結果がAランク以上の場合、1戸につき7万円を助成	2,800 (40戸)	0	2,800 (40戸)
改修	県産材・JSA製材活用助成 県産材使用量1m3当たり2万5千円（緊急経済対策上乗せ含む）を助成（上限25万円）	17,000 (50戸)	0	17,000 (50戸)
	JAS製材使用量1m3当たり9千円を助成（上限9万円）			
小計		188,820	82,826	271,646
前年度債務負担行為設定済額		70,300	6,070	64,230
標準事務費		260	0	260
合計		259,380	76,756	336,136

3 これまでの取組状況、改善点

- ・県産材活用に係る消費者の意識向上、山林・地域産業の振興等
- ・平成21年度より他事業による講習会実施等と合わせてCASBEE評価制度の普及に取り組み住宅の環境負荷低減に係る関係者の認識及び知識の向上を推進
- ・平成22年度は住宅改修助成との一元化及び助成内容の見直しを通じて、環境に配慮した住まいづくりへの誘導強化

